



DATA FILE

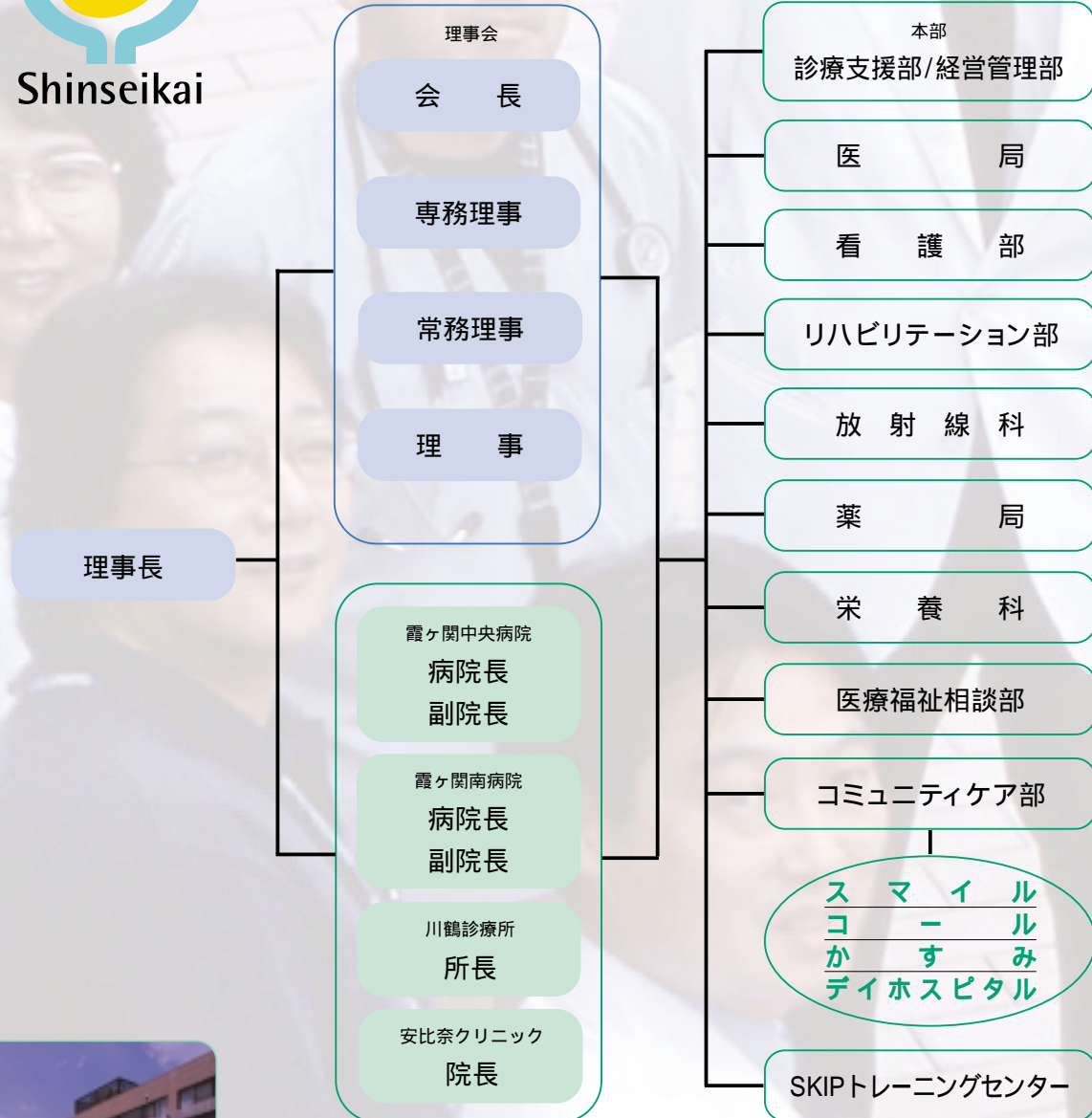
しあわせを実現する機能、組織、そしてスピリット

設立理念である「老人にも明日がある」を踏まえ、真正会が目指すものは、利用者、地域の方、そしてスタッフ、すべての人の「しあわせ」です。



組織図

(2003年4月1日現在)



Spirits

設立理念である「老人にも明日がある」を踏まえ、真正会が目指すものは、利用者、地域住民、そしてスタッフ、すべての人の「しあわせ」です

サービスの3本柱

私たちは利用者様がフラストレーションのない生活を送れるようにチームで取り組みます。
 利用者が必要かつ適正なサービスを提供し、決して無益な医療・ケアは行わない
 どんなときも自己決定ができるような選択肢を提示する
 リハビリテーションの理念に基づく、活動的な生活を創造する
 利用者・家族の思いを受け止め、柔軟に対応する
 利用者が納得できる生活（食事・環境・清潔・整容など）を援助する

私たちは常に地域の一員であることを忘れず、そのニーズに積極的に応えていきます。
 地域のために施設の機能を提供する
 地域の保健活動に積極的に取り組む
 ボランティア活動を理解し協力を惜しまない
 地域住民とのふれあいを大切にする
 サービスに関する情報を公開する

私たちは常に自分の職場に誇りや愛着を持って使命を果たします。
 スタッフの心得（介護の心得）を常に理解し念頭におく
 どんな用件、苦情でも自分のものとして受け止め解決する
 他部署への協力を惜しまない
 チームの業務改善に積極的に取り組む
 スタッフは必要な情報を共有する
 快適な職場環境をつくる
 お互いに認め合い、感謝の気持ちを表現する
 リーダーは自己の行動をもってスタンダードを示す





Annual Report 2002~2003
DATA FILE
C·O·N·T·E·N·T·S

真正会の組織と目標・・・2

入院状況 / 入院相談状況 / ショートステイ利用状況・・・5

入院時疾病別状況 / 老人の日常生活自立度・・・6

退院状況 / 一般撮影 (入院) / CT撮影 (入院)・・・7

栄養・服薬指導件数 / ヒヤリハット事例報告・・・8

リハビリテーションの現況・・・9

通所・訪問・居宅サービスの現況・・・10

各種健診・ドック事業・・・11

施設紹介・・・12

Financial Summary・・・14

年譜～真正会のあゆみ～・・・15

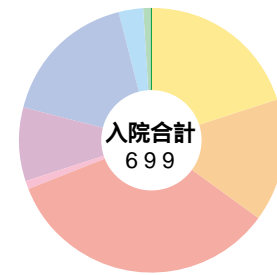


DATA FILE-1

入院状況 / 入院相談状況 / ショートステイ利用状況

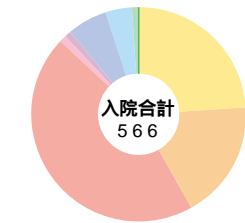
入院状況 (2002年度)

霞ヶ関南病院 (単位・件)



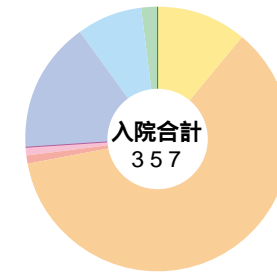
自宅入院	137
他院(大学)転入	108
他院(一般)転入	244
他院(療養)転入	6
中央病院から転入	62
転病棟	116
特別養護老人ホーム	18
老人保健施設	6
その他	2

2001~2002 霞ヶ関南病院 (単位・件)



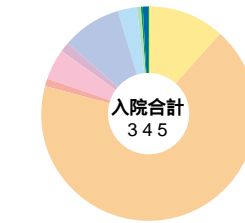
自宅入院	135
他院(大学)転入	101
他院(一般)転入	259
他院(療養)転入	5
中央病院から転入	5
転病棟	35
特別養護老人ホーム	22
老人保健施設	4

霞ヶ関中央病院 (単位・件)



自宅入院	38
ショートステイ	221
他院(大学)転入	2
他院(一般)転入	2
他院(療養)転入	1
南病院から転入	58
転病棟	27
保険切替	7
老人保健施設	1

2001~2002 霞ヶ関中央病院 (単位・件)



自宅入院	40
ショートステイ	233
他院(大学)転入	4
他院(一般)転入	16
他院(療養)転入	5
南病院から転入	31
転病棟	10
保険切替	2
特別養護老人ホーム	1
老人保健施設	3

入院相談状況 (霞ヶ関南病院: 2002年度)

(単位・件)

	入院相談	内回復期	その他	実入院数
2002				
4月	77	45	32	75
5月	56	38	18	54
6月	58	31	27	47
7月	58	40	18	56
8月	63	40	23	38
9月	50	31	19	41
10月	50	44	6	58
11月	59	36	23	37
12月	59	43	16	42
2003				
1月	87	50	37	45
2月	73	54	19	32
3月	44	21	23	41
合計	734	473	261	566
月平均	61.17	39.42	21.75	47.17

回復期とは?

主に脳血管障害や骨折などの病気で、病状が落ち着きはじめ安静が必要でなくなった状態で、だいたい発症から1~3ヵ月後の期間を指します。この時期では集中的なりハビリテーション訓練がとて効果的と言われています。

ショートステイ利用状況

(霞ヶ関中央病院: 2002年度)

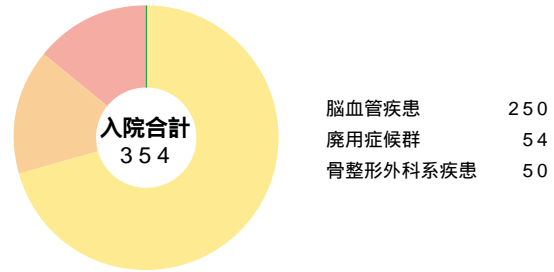
(単位・件)

要支援	0
介護度1	5
介護度2	20
介護度3	13
介護度4	36
介護度5	159
合計	233
月平均	19.4
平均介護度	4.39

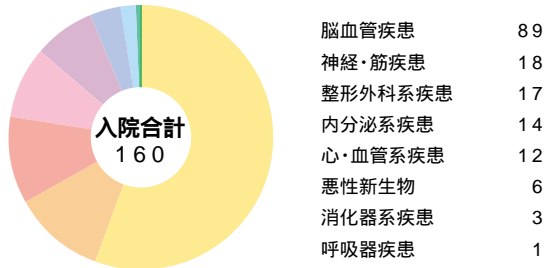


入院時疾病別状況 (2002年度)

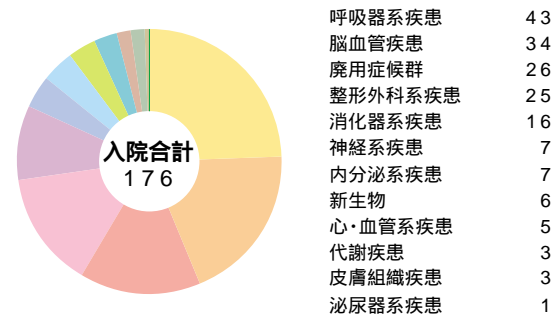
霞ヶ関南病院・回復期リハビリ病棟 (単位・件)



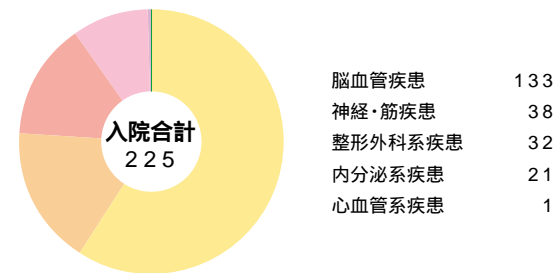
霞ヶ関中央病院・介護保険病棟(単位・件)



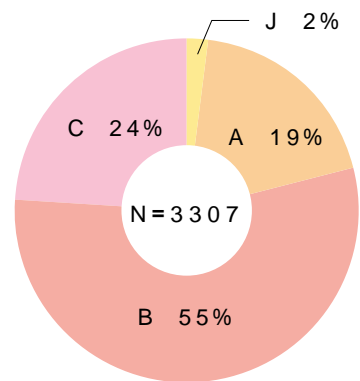
霞ヶ関南病院・医療療養期リハビリ病棟 (単位・件)



霞ヶ関中央病院・介護保険病棟(ショートステイ) (単位・件)

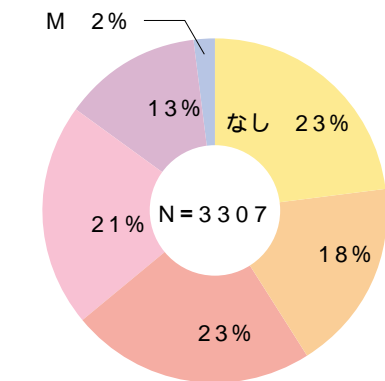


障害老人の日常生活自立度 (2002年度)



ランク	判断基準
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する

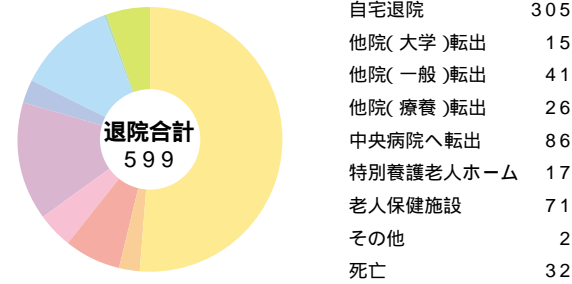
痴呆老人の日常生活自立度 (2002年度)



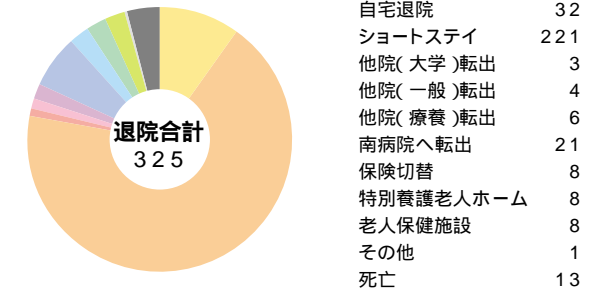
ランク	判断基準
	何らかの痴呆を有するが、日常生活は家族内および社会的にほぼ自立している
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

退院状況 (2002年度)

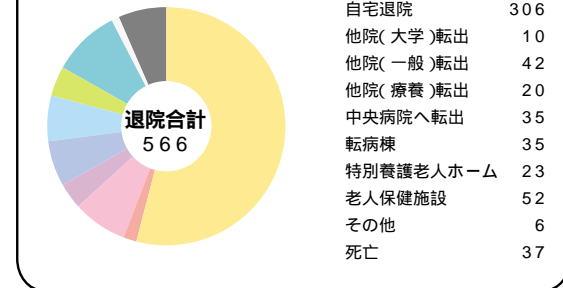
霞ヶ関南病院 (単位・件)



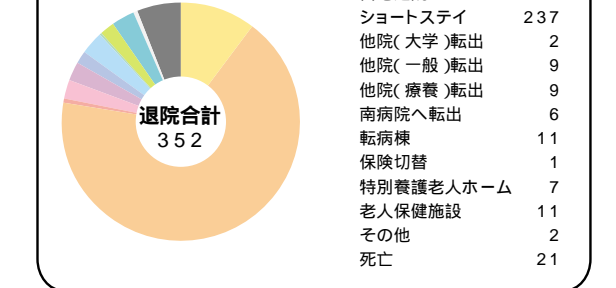
霞ヶ関中央病院 (単位・件)



2001~2002 霞ヶ関南病院 (単位・件)



2001~2002 霞ヶ関中央病院 (単位・件)

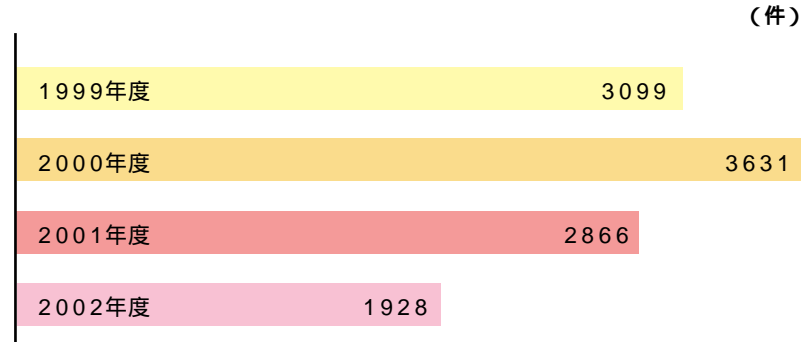


霞ヶ関南病院全体	平均(日)
平均在院日数	169.11
平均入院日数	128.71
6ヵ月超入院患者数	25.2
自宅退院率	54%

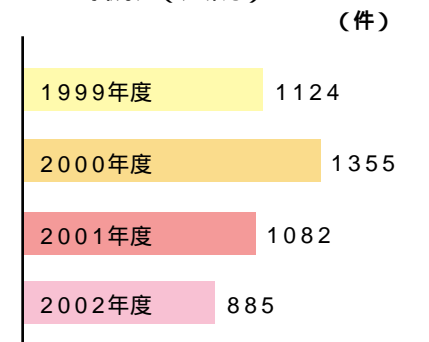
霞ヶ関中央病院全体	平均(日)
平均在院日数	94.9
平均入院日数	318.6
6ヵ月超入院患者数	24.2
自宅退院率	30.1%

霞ヶ関南病院回復期	平均(日)
平均在院日数	146.83
平均入院日数	86.5
6ヵ月超入院患者数	3.8
自宅退院率	57%

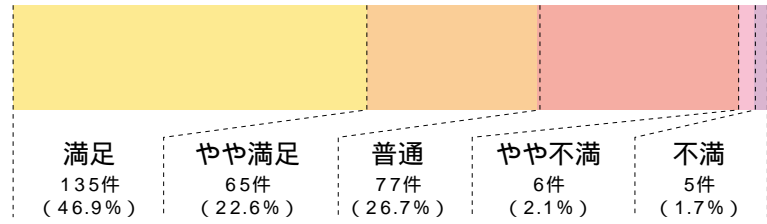
一般撮影 (入院)



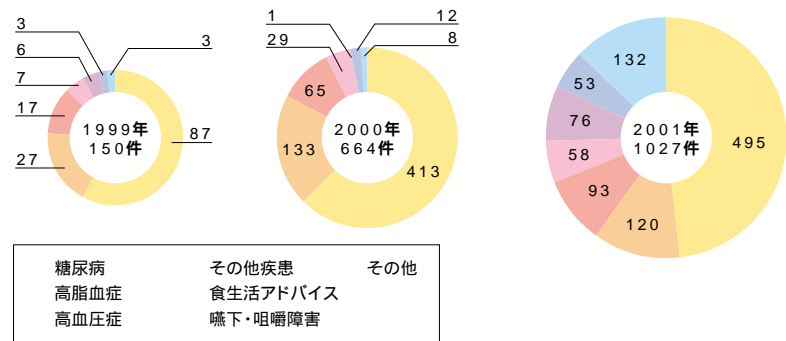
CT撮影 (入院)



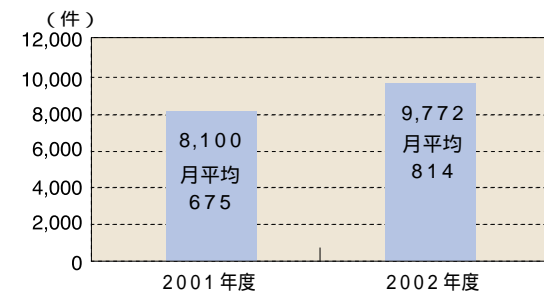
入院患者様の食事に対する満足度
(2001年度:退院時アンケートより)



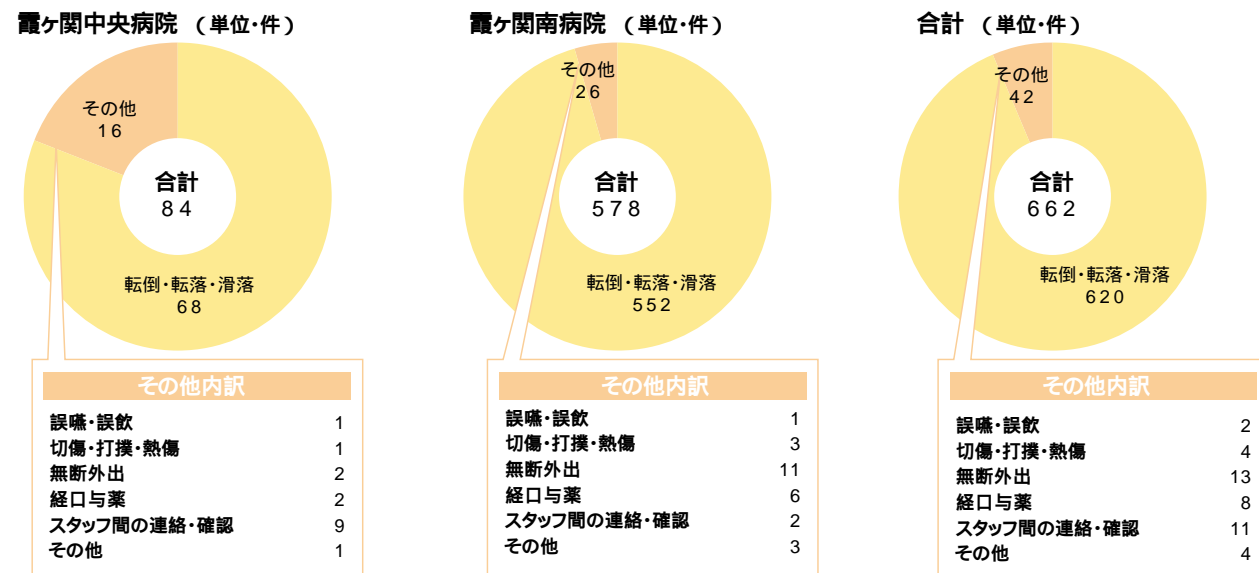
栄養指導件数の推移



服薬指導件数の推移



ヒヤリハット事例分類 (2002年度)



食事形態と比率 (2002年度) (%)

	C食	中央	南	S食	中央	南
常食	12.2	27.3	*			
C1	9.8	11.2	S1	0	0	
C2	30.4	24.1	S2	0	0.5	
S2トロミなし	0	11.2	*			
C3	4.9	5.4	S3	9.8	4.8	
ブレンダー	1.2	0.5	S4	4.9	2.7	
経管栄養	26.8	12.3	*			
合計	85.3	92.0	合計	14.7	8.0	

咀嚼対応=C(Cut)食、嚥下対応=S(Swallowing)食

食事形態の目安 (参考)

- ・常食
咀嚼能力・嚥下能力に問題のない方。家庭で食べる大きさ。
- ・C1・S1
C1は咀嚼レベル1、S1は嚥下レベル1の方に対応。常食を補助的にカット。
- ・C2・S2
C2は咀嚼レベル2、S2は嚥下レベル2の方に対応。1~1.5cm程度につぶしたり、細かく刻んだ軽菜食。
- ・C3・S3
C3は咀嚼レベル3、S3は嚥下レベル3の方に対応。0.2~0.3cm程度に刻んだ軽菜食。
- ・ブレンダー・S4
ブレンダーは内科系疾患の方に対応した濃厚流動食、S4は嚥下レベル4の方に対応。つぶした軟菜食をさらにミキサーにかける。
- ・流動・S5
流動は内科系疾患の方に対応した単純流動食。S5は食事訓練をする方に対応。流動、ゼリー食。

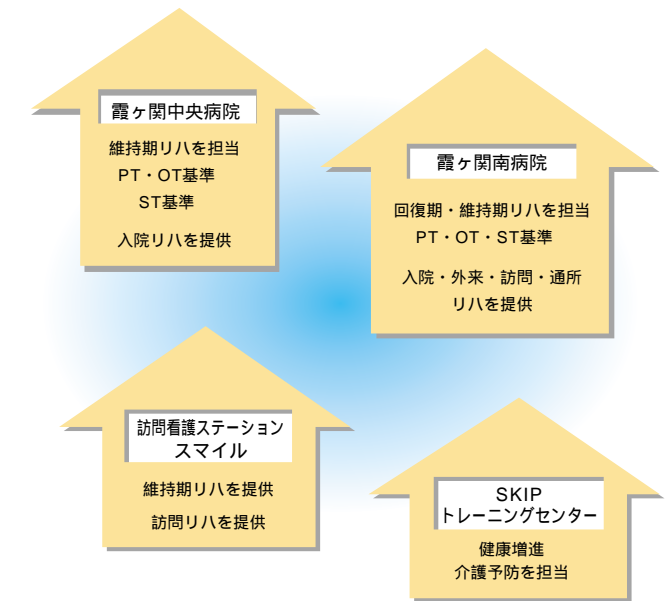
リハビリテーションサービスの分類

急性期 リハビリテーション	廃用症候群の予防を中心とするリハビリテーションサービス	発症1カ月	入院
回復期 リハビリテーション	A DLの改善を中心に能動的で多彩な訓練を集中的に行うリハビリテーションサービス	発症後 最長9カ月	入院 (回復期リハビリテーション) 外来
維持期 リハビリテーション	獲得された家庭もしくは施設の生活や社会生活の維持・継続を支援するリハビリテーションサービス	上記以降	居宅 (訪問・通所・通院) 施設 (入院)
終末期 リハビリテーション	尊厳ある終末期を支援するリハビリテーションサービス		

医療法人真正会のリハビリテーションサービス

リハビリテーションサービスの種類

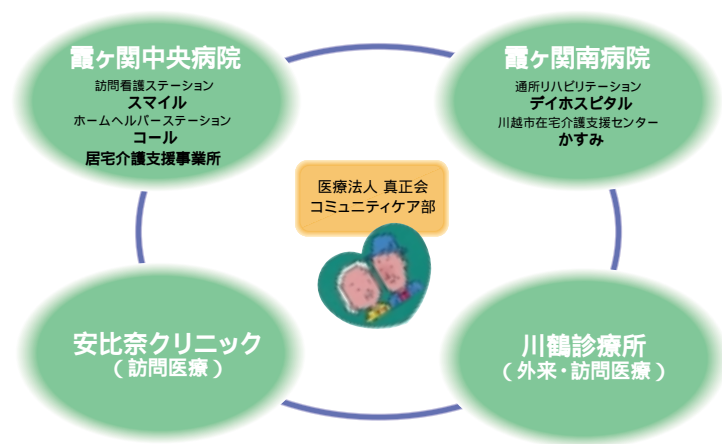
名称	概要・実施機関	実施場所・内容	保険区分
入院リハ	入院によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院 ・霞ヶ関中央病院	総合リハ施設・理学療法 個別・集団によるリハビリ フィットネストレーニング	介護保険 医療保険
外来リハ	外来通院によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院	総合リハ施設 個別によるリハビリ フィットネストレーニング	医療保険
通所リハ	デイホスピタル(通所リハビリテーション) ・霞ヶ関南病院	総合リハ施設 個別・集団によるリハビリ フィットネストレーニング	介護保険
訪問リハ	自宅訪問によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院 ・訪問看護ステーションスマイル	自宅 実生活の場での個別リハビリ	医療保険 介護保険
予防リハ	健康増進・介護予防 ・霞ヶ関南病院	SKIPトレーニングセンター フィットネストレーニングを活用した健康増進と介護	自費



リハビリテーション部門で働く5職種 (2003年9月1日現在)

略称	正式名称	主な業務内容	スタッフ体制
P T	理学療法士 (Physical Therapist)	起居・移動動作・基礎体力の評価と治療 テクニカルエイドのアドバイス	中央病院: 5名 南病院: 24名 訪問: 5名
O T	作業療法士 (Occupational Therapist)	日常生活行為の評価と治療 その人らしい生活内容の再建 テクニカルエイドのアドバイス	中央病院: 3名 南病院: 20名
S T	言語聴覚士 (Speech Therapist)	コミュニケーション能力障害の評価と治療 摂食嚥下機能障害の評価と治療	中央病院: 3名 南病院: 10名
R W	レクリエーションワーカー (Recreation Worker)	アクティビティーを通じた生活の活性化	中央病院: 2名 南病院: 2名
H F P	健康運動指導士 (Health Fitness Programmer)	体力測定に基づく、運動メニューの提供	SKIP : 4名

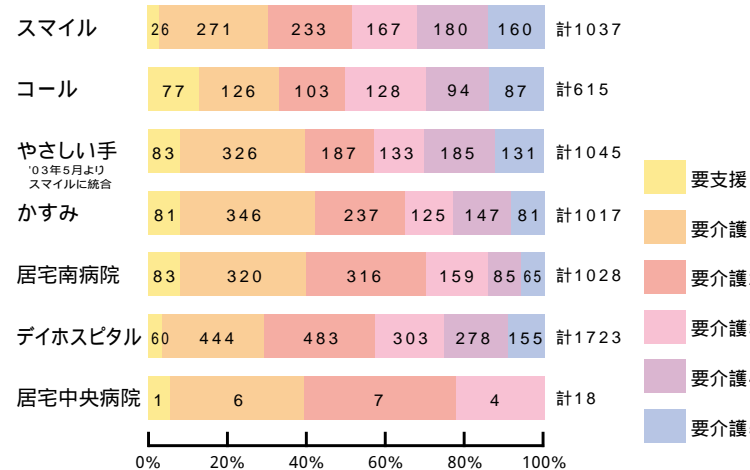
各サービス拠点の概要 (2003年度9月現在)



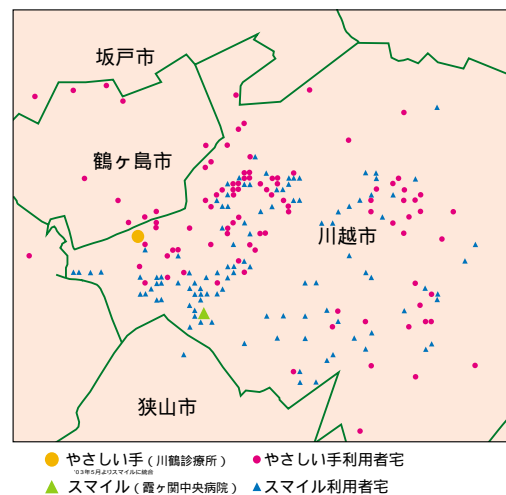
事業所(部署名)	サービス種別	契約利用者数	スタッフ数	事業内容
スマイル	訪問看護(介護保険) 医療保険 訪問リハ(介護保険) 医療保険	274名	看護師14名(常)・10名(非) 理学療法士5名 作業療法士1名 事務職員1名	訪問看護(病状チェック、処置、医療機器指導の管理指導、介護指導、病状の不安な方への身体介護等)を提供するとともに、訪問リハビリを展開し、患者様に対しても訪問を行う。またターミナルケアなど、医療依存度の高い患者様への対応がセールスポイントの一つとなっている。
コール	訪問介護(介護保険)	52名	介護福祉士2名 ホームヘルパー3名	入浴介助などの身体介護と掃除や調理などの家事援助を提供。
デイホスピタル	通所リハビリ(介護保険) (南病院外来・医療保険)	138名	医師3名(兼任) 看護師2名 介護福祉士3名 ケアワーカー6名(常)・2名(非) レクリエーションワーカー1名 理学療法士1名 作業療法士1名 MSW1名	通所リハビリテーションとして、維持期のリハビリとアクティビティの提供を行う。リハビリ病院併設の特色を生かし、他職種によるアセスメントとチームアプローチを得意とする。診療については霞ヶ関南病院外来の扱いで、医学的管理も実施。
在宅介護支援センター かすみ	川越市委託事業 (居宅介護支援事業)	58名 71名	MSW(介護支援専門員)2名 看護師(介護支援専門員)1名	地域の公的な総合相談窓口で、介護予防事業も本格的な実施を予定している。
居宅介護支援事業所 霞ヶ関中央病院	居宅介護支援事業	80名	MSW(介護支援専門員)3名	ケアマネジメントを専門とする事業所で相談援助を得意とする。
安比奈クリニック	訪問診療(医療保険) 居宅療養管理指導	109名	医師9名(兼任) 看護師1名・2名(兼任)	通院困難な患者さまへ定期訪問診療、病状変化時の往診など医学的管理を行う。

利用者数・スタッフ数は2003年5月1日現在

コミュニティケア部要介護度別利用者数 (2002年度)

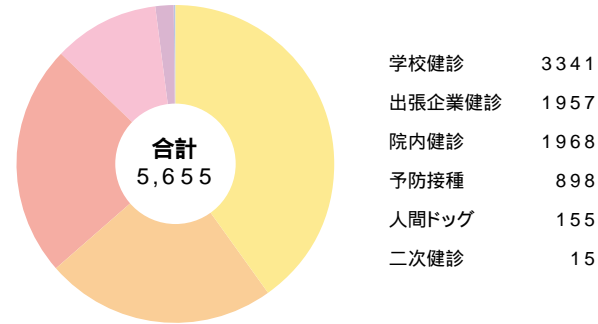


利用者分布 (2002年度)



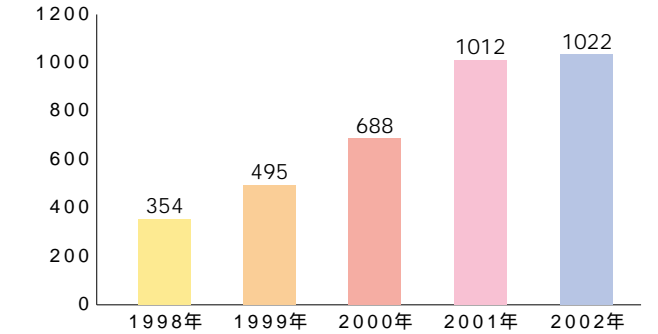
HPT実施状況 (2002年度)

当法人の健診プログラムは、地域のご高齢者から園児に至るまで、あらゆる年齢層の方々の健康管理に幅広く利用されています。

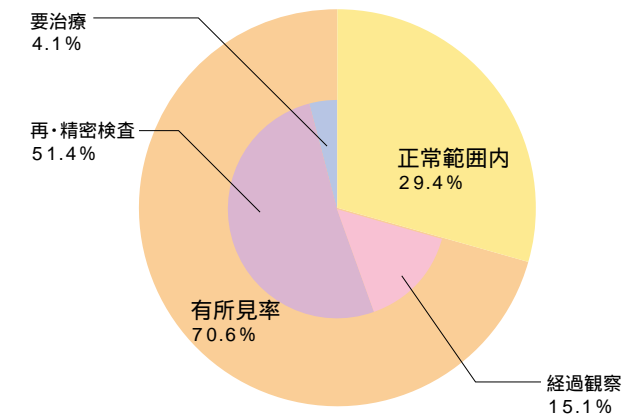


川越市基本健康診査利用者数の推移 (2002年度・霞ヶ関中央・南病院)

生活習慣病に対する認識、健康増進への関心は年々高くなる一方です。健康診査の利用者数の増加は、まさにこの傾向を裏付けるデータです。



健診・ドック利用者判定 (2002年度)



有所見率は70.6%。データにはありませんが、年々確実に増加しています。これは、疾患を抱える方が増えているというより、ご自身の健康に不安を抱える方が、より積極的にチェックを受けるようになった結果と言ってしまうかもしれません。なお、再検査・精密検査の割合が51.4%と特に高くなっていますが、中でも血中脂質や肝機能検査の有所見率が高い状況です。



Kasumigaseki-Chuo Hospital



霞ヶ関中央病院

川越市笠幡5024-103 TEL 049-231-5121 FAX049-231-5457

開設 1972年
診療科目 内科・神経内科・循環器科・消化器科・整形外科・眼科・放射線科・アレルギー科・リハビリテーション科・リウマチ科・糖尿病専門外来(糖尿教室)
外来受付時間 月～金 午前8:30～午前11:00
 午後1:00～午後4:00
 土曜日 午前8:30～午前11:00
休診日 日曜日/祝日

Kasumigaseki-Minami Hospital



霞ヶ関南病院

川越市安比奈新田283-1 TEL 049-232-1313 FAX049-233-0981

開設 1987年
診療科目 内科・放射線科・リハビリテーション科
受付時間 (すべて予約制となります)
 月～金 午前9:30～午前11:00
 午後2:00～午後4:00
休診日 土・日曜日/祝日



SKIPトレーニングセンター



総合リハビリテーションセンター

Annual Column

院内スペースの有効活用について

霞ヶ関南病院では、ギャラリーや小ホールなど、院内の各所を地域住民の皆様には開放しています。

開催期間	日数	催事名	展示内容
4/1～4/13	13	二人展	水彩画展
4/14～4/28	15	彩美会	絵画展
5/1～5/12	12	横田	小彩画
5/13～5/26	14	霞ヶ関フォトクラブ	写真展
5/29～6/12	15	光彩会	水彩画展
6/26～7/14	20	二人展	水彩画展
9/10～9/21	12	水村	生け花写真展
10/8～10/20	13	霞ヶ関フォトクラブ	写真展
10/20～11/3	14	かすみ絵画クラブ	絵画展
11/6～11/20	15	光彩会	水彩画展
1/6～1/20	15	横田	書道絵画展
計158			

月	日	利用者名	月	日	利用者名
4	13	霞ヶ関西中学	12	23	霞ヶ関南小学校
5	18	霞ヶ関西中学	10	10	川越市健康増進課
6	1	県西医療連携懇談会	17	17	アートクレイ華
6	16	つるがしま市民吹奏楽	17	17	詩吟
6	26	埼介研薬剤部会	18	18	県西医療連携懇談会
8	18	民謡かすみ会	24	24	アートクレイ華
9	2	アートクレイ華	31	31	詩吟
9	9	アートクレイ華	3	3	痴呆介護実務者研修
10	7	パンフラワー	6	6	アートクレイ華
10	25	詩吟クラブ	12	12	痴呆介護実務者研修
11	11	アートクレイ華	17	17	詩吟
11	18	アートクレイ華	21	21	アートクレイ華
11	25	詩吟クラブ	25	25	痴呆介護実務者研修
12	30	霞ヶ関南小学校	5	5	川越市健康福祉課
12	2	アートクレイ華	7	7	アートクレイ華
12	16	アートクレイ華	13	13	詩吟
12	20	詩吟クラブ	28	28	アートクレイ華

Kawaturu Clinic



川鶴診療所

川越市川鶴3-4-10 TEL 049-233-2155

開設 1982年
診療科目 内科・小児科
受付時間 月～土 午前9:00～午前12:00
 月・火 午後2:00～午後6:00
 水～金 午後4:00～午後6:00
往診・訪問診察 水・木・金 午後1:30～午後4:00
休診日 日曜日・祝日・土曜日の午後

Aina Clinic



安比奈クリニック

川越市安比奈新田258-12 TEL 049-239-3353 FAX 049-239-3354

開設 2003年
診療科目 内科(訪問診療)
受付時間 月～金 午前9:00～午前12:00
 午後1:00～午後5:00
 土 午前9:00～午後6:00
休診日 日曜日・祝日・土曜日の午後

霞ヶ関南病院・霞ヶ関中央病院の併設機関

訪問看護ステーション

スマイル

川越市笠幡5024-103(霞ヶ関中央病院内)
 TEL 049-233-2525 FAX049-234-7572

開設 1998年
事業内容 訪問看護/訪問リハビリテーション/居宅介護支援事業者

川越市在宅介護支援センター

かすみ

川越市安比奈新田283-1(霞ヶ関南病院内)
 TEL 049-234-8181 FAX.049-231-8182

開設 1999年
事業内容 介護相談、生活相談等/行政機関やサービス事業者との連絡調整

ホームヘルパーステーション

コール

川越市笠幡5024-103(霞ヶ関中央病院内)
 TEL 049-231-5121 FAX049-231-5457

開設 2000年
サービス内容 身体介護/家事援助/複合介護

デイホスピタル

川越市安比奈新田283-1(霞ヶ関南病院内)
 TEL 049-232-1313 FAX049-233-0981

開設 1980年
事業内容 通所リハビリテーション

関連機関 社会福祉法人 真寿会

介護老人福祉施設
真寿園
 (特別養護老人ホーム)

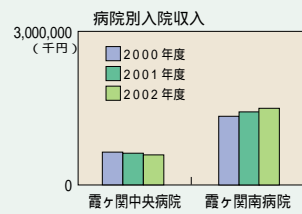
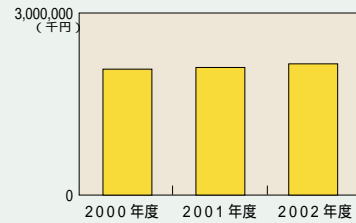
川越市大字安比奈新田292-1
 TEL.049-234-8838
 FAX049-234-8839

開設 1977年
関連事業部門 ショートステイサービス
 デイサービスセンター
 在宅者機能回復訓練事業
 託老事業
 ホームヘルパーステーション
 在宅介護支援センター
 配食サービス事業
 工房河肥焼真寿窯

Financial Summary

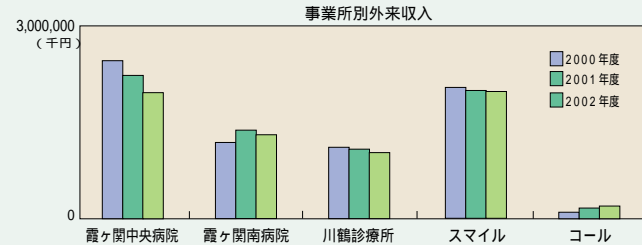
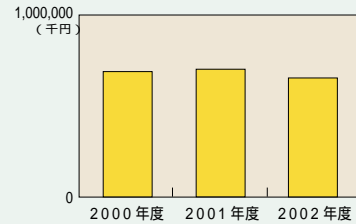
主な収入

入院収入

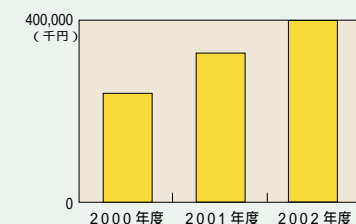


	入院患者数 (霞ヶ関中央)		入院患者数 (霞ヶ関南)	
	1ヵ月平均入院患者数	病床利用率 86床	1ヵ月平均入院患者数	病床利用率 86床
2000年度	77.8人	90.5%	190.2人	95.6%
2001年度	80.5人	93.6%	191.9人	96.4%
2002年度	83.1人	96.6%	196.7人	98.8%

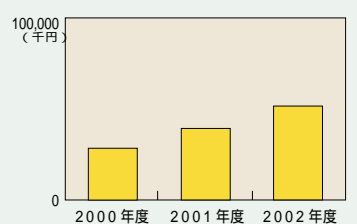
外来収入



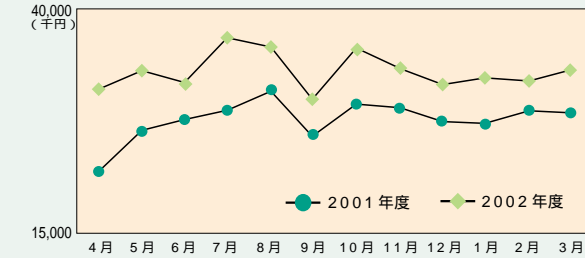
リハビリ収入



健康診断収入



月次別リハビリ収入

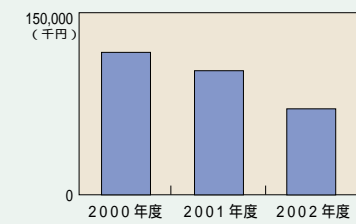


室料差額収入・その他収入前年比率

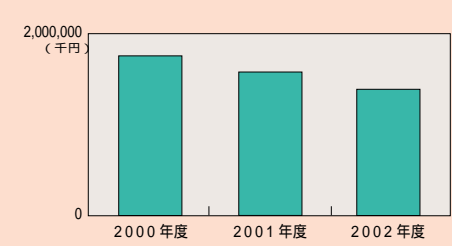
	霞ヶ関中央 比率	霞ヶ関南 比率	合計 比率
室料差額収入	50.8%	22.4%	30.7%
その他の収入	17.5%	4.1%	3.8%
オムツ(再掲)	-	31.6%	31.6%

主な支出

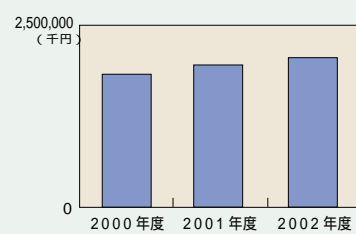
薬品費



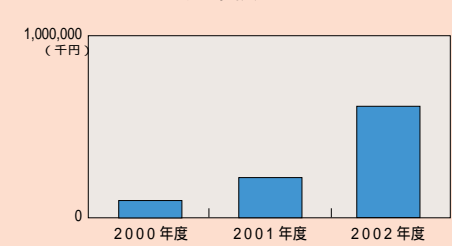
減価償却費



給与費



経常損益



年譜～真正会のあゆみ～

- 1972年 (昭和47年) 霞ヶ関中央病院開設 (48床)
- 1975年 (昭和50年) 医療法人認可
- 1976年 (昭和51年) 病院ボランティア導入
- 1977年 (昭和52年) 特別養護老人ホーム真寿園設立
- 1977年 (昭和52年) 特別養護老人ホーム真寿園の協力医療機関となる
- 1978年 (昭和53年) 98床に増床
- 1980年 (昭和55年) 108床に増床
- 1980年 (昭和55年) デイホスピタル設置
- 1982年 (昭和57年) 120床に増床
- 1982年 (昭和57年) 川鶴診療所開設
- 1984年 (昭和59年) 200床に増床
- 1985年 (昭和60年) 会員組織「かすみ会」設置(保健・予防)
- 1987年 (昭和62年) 霞ヶ関南病院開設 (100床)
- 1988年 (昭和63年) デイホスピタル、南病院に移設
- 1988年 (昭和63年) リハビリテーション部門承認(理学・作業療法)
- 1990年 (平成2年) 霞ヶ関南病院、在宅医療開始
- 1991年 (平成3年) 特養キングスガーデンの協力医療機関となる
- 1994年 (平成6年) 訪問看護ステーション「やさしい手」開設
- 1998年 (平成10年) 訪問看護ステーション「スマイル」開設
- 1998年 (平成10年) 霞ヶ関南病院、療養型病床(127床)認可
- 1998年 (平成10年) 霞ヶ関南病院・総合リハビリテーション施設認可
- 1998年 (平成10年) 霞ヶ関中央病院、一般病棟新看護2.5対1の届出
- 1999年 (平成11年) 霞ヶ関南病院・在宅介護支援センター「かすみ」開設
- 1999年 (平成11年) 霞ヶ関中央病院、霞ヶ関南病院、訪問看護ステーションやさしい手・スマイル、川越市在宅介護支援センターかすみ、介護保険法による居宅介護支援事業者に指定
- 1999年 (平成11年) 霞ヶ関南病院デイホスピタルが介護保険法による通所リハビリテーションに指定
- 1999年 (平成11年) 霞ヶ関中央病院の外来機能を拡張、強化(一般36床、療養型50床)
- 1999年 (平成11年) 霞ヶ関南病院 療養型199床)
- 2000年 (平成12年) ホームヘルプステーションコール開設、介護保険法による訪問介護事業者に指定
- 2000年 (平成12年) 霞ヶ関中央病院、介護療養型医療施設50床、短期入所療養介護施設に指定、霞ヶ関中央病院、川鶴診療所が訪問介護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導に指定
- 2000年 (平成12年) ホームヘルパー養成研修開始
- 2000年 (平成12年) 霞ヶ関中央病院、一般病棟新看護2対1の届出
- 2001年 (平成13年5月) 霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(やまぶき・42床)承認
- 2001年 (平成13年7月) 霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(さくら・42床)承認、計84床
- 2001年 (平成13年5月) 霞ヶ関中央病院、理学療法(届出)
- 2001年 (平成13年6月) 川越市在宅高齢者配食サービス開始
- 2001年 (平成13年7月) 霞ヶ関中央病院、リウマチ科開始
- 2001年 (平成13年10月) 霞ヶ関中央病院一般病棟36床を霞ヶ関南病院に移設(ふじ・41床)
- 2001年 (平成13年10月) 霞ヶ関中央病院、介護療養型病床を36床増設し計86床
- 2001年 (平成13年10月) 霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(すみれ・37床)承認、計121床
- 2001年 (平成13年10月) 医療法による病床種別届出実施
- 2001年 (平成13年11月) 霞ヶ関中央病院、外来診療科「アレルギー科」を開始、「小児科」を廃止
- 2001年 (平成13年11月) 救急医療機関指定を辞退
- 2002年 (平成14年2月) 痴呆介護実務者研修実施
- 2002年 (平成14年3月) 霞ヶ関南病院、一般病棟(ふじ・41床)入院基本料辞退、療養病棟へ
- 2002年 (平成14年3月) 霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(けやき・37床)承認、計158床
- 2002年 (平成14年4月) 地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関となる
- 2002年 (平成14年4月) 霞ヶ関南病院、言語聴覚療法()届出
- 2002年 (平成14年5月) 霞ヶ関中央病院、言語聴覚療法()届出
- 2002年 (平成14年6月) SKIPトレーニングセンター竣工
- 2003年 (平成15年5月) 安比奈クリニック竣工